（参考様式）

令和３年度　生田高等学校 年間指導計画

教科・科目	数学・数学A	学年	1	教科書	数研出版「改訂版　高等学校　数学A」
		単位数	2	副教材	数研出版「4プロセス　数学A」

学習目標	場合の数と確率、整数の性質、図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方を身につけ、その良さを認識できるようにする。
学習方法	講義と演習、確認テスト、レポート、家庭学習課題。また、主体的・協働的な学習を通じ、内容の理解を深める。
学習評価	

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	学習目標に沿って内容に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。
b	数学的な見方や考え方	数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的にとらえ論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り多面的に考えようとする。
c	数学的な技能	事象を数学的に考察し、表現処理する仕方を身につけ、的確に問題を解決し正しく記述できる。
d	知識・理解	基本的な概念、定理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。

学期	内容のまとまり	時数	単元（題材）	学習内容	評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	場合の数と確率	15	場合の数	集合の要素の個数		○		○	a 集合の意味を理解する。 b 場合の数を計算できる。 c 法則を理解できる。 d 順列、組合せの総数を計算できる。	レポート 確認テスト 観察 定期テスト
				場合の数	○	○	○	○		
				順列		○	○			
				組合せ		○	○	○		
		15	確率	事象と確率	○	○		○	a 試行、事象、確率の意味を理解する。 b 基本性質を集合と関連付けて理解できる。 c 独立試行の確率を求められる。 c 反復試行の確率を求められる。 d 条件付き確率の意味が理解できる。	
				確率の基本性質			○	○		
				独立な試行と確率		○	○	○		
				条件付き確率		○	○	○		
2学期	図形の性質	15	平面図形	三角形の辺の比			○	○	a 角の二等分線と辺の比について理解し、三角形の五心について理解する。 b 二つの定理が活用できる。 c 円に内接する四角形の性質を活用できる。	レポート 確認テスト 観察 定期テスト
				三角形の外心、内心、重心	○		○	○		
				チェバの定理・メネラウスの定理		○	○	○		
				円に内接する四角形			○	○		
				円と直線		○	○	○	a 接弦定理が活用できる。	レポート 確認テスト 観察 定期テスト
				2つの円		○	○	○		
				作図			○	○		
		15	空間図形	直線と平面		○		○	a空間での直線、平面の関係を理解する。	
				空間図形と多面体		○	○	○		
3学期	整数の性質	4	約数と倍数	約数と倍数	○		○	○	a n進法について理解する。 b 約数、倍数の見分け方を身につける。 b 分数を小数で表す方法が理解できる。 c 最大公約数、最小公倍数が求められる。 c 二元一次不定方程式の整数解が求められる。 d ユークリッドの互除法が活用できる。	レポート 確認テスト 観察 定期テスト
				最大公約数・最小公倍数		○	○	○		
				整数の割り算と商・余り		○	○	○		
		4	ユークリッドの互除法	ユークリッドの互除法	○	○	○	○		
				1次不定方程式	○	○	○			
		2	整数の性質の活用	分数と小数		○	○	○		
				n進法		○	○	○		
合計時数(50分授業)		70								